

【発掘された弥生の国邑】

妻木晩田遺跡では、丘陵の尾根上で生活した弥生人の痕跡が、広大な丘の上に良好に残っています。発見された、900棟以上の建物跡、30基以上の墳丘墓は、中国の歴史書『魏志倭人伝』に描かれた「山島に依りて国邑をなす」という一文を彷彿とさせます。

どのほら 洞ノ原地区西側丘陵



1世紀中頃に、直径65mもある環壕と呼ばれる大きな溝が丘陵を囲むように掘られています。溝は幅4~5m、深さ約2mもある大きなものです。

せんたに 仙谷地区



2世紀代、洞ノ原地区東側丘陵の次に造られ始めた墳丘墓群です。2基の四隅突出型墳丘墓を含む9基が見つっています。このうち、仙谷3号墓では、箱形の木棺を納めた22基の墓穴(埋葬施設)が確認されました。

むきにやま 妻木新山地区

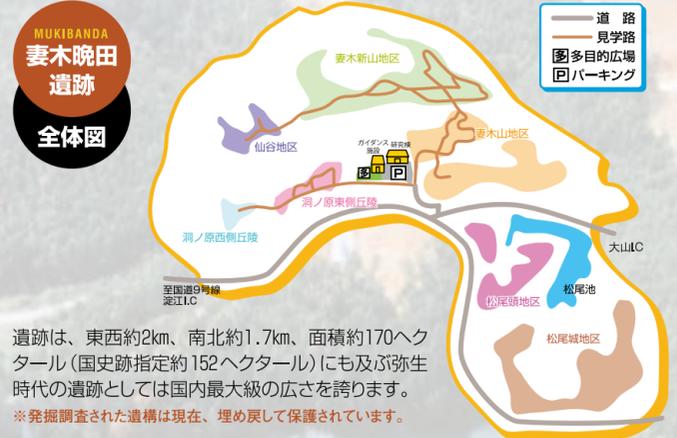


遺跡が最盛期を迎える前の1世紀後半から2世紀前半頃に栄えた地区です。数多くの竪穴住居跡や掘立柱建物跡などが見つかりました。

むきやま 妻木山地区



遺跡が最盛期を迎える2世紀後半の住居跡が最も多く見つかったムラの中心地の1つです。竪穴住居跡も円形や隅丸方形、多角形など様々な形のものがあります。



どのほら 洞ノ原地区東側丘陵



1世紀後半から2世紀前半頃の約100年間に大小25基の墳丘墓が造られています。四隅突出型墳丘墓と呼ばれる日本海沿岸地域に特徴的な形のお墓があります。

まつおかしら 松尾頭地区



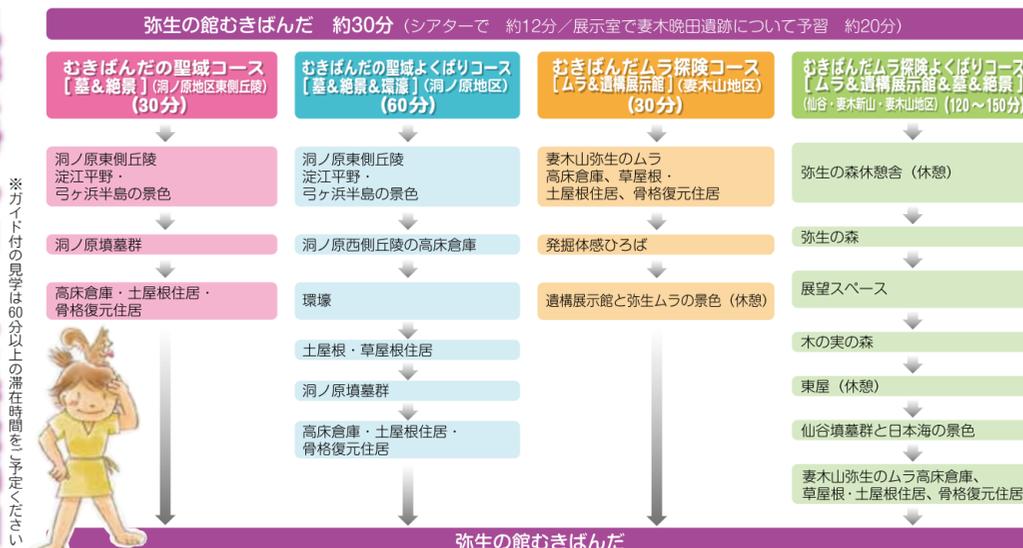
大型の竪穴住居跡や24本柱の方形建物、中国製の鏡の出土など、ムラの有力者の居住区と考えられます。3世紀には方形の墳丘墓2基も造られています。

まつおじょう 松尾城地区



遺跡で最も高い標高150~180mに位置します。2世紀後半から3世紀の竪穴住居跡や掘立柱建物跡などが見つっています。

見学モデルコースと所要時間



ボランティアガイド

◆定時案内/4月~11月 予約不要
平日: 13:30
土日祝日: 10:30 13:30

◆12月~3月まで定時案内は休止しますが、案内を希望される方は、1週間前までにご予約ください。

◆予約案内/団体が案内を希望される方は、1週間前までにご予約ください。

電話、ファクシミリ、メールのいずれかでお申し込みください。

ガイド料 無料です

弥生体験にチャレンジ!!

◆期間/年末年始を除く土日祝日/夏休み期間中(7月中旬~8月下旬) 10:00~16:00(受付は15:30まで) 団体が弥生体験を希望される方は、事前にお問合せください。

◆料金/材料費

- 火おこし 無料
- 勾玉づくり 360~530円(石の種類による)
- 石包丁づくり 380円
- 土笛づくり 360円
- 弥生の鏡づくり 800円

令和元年 10月 1日

アクセスマップ



鳥取県立むきばんだ史跡公園 ご利用あんない

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで) 入園料 無料

休園日 毎月第4月曜日(その日が祝日の場合は、その直後の休日でない日) 年末年始(12月29日~1月3日) 駐車場 普通車60台 大型バス3台

お問い合わせ先 〒689-3324 鳥取県西伯郡大山町妻木1115-4 電話:0859-37-4000 ファクシミリ:0859-37-4001

E-mail mukibanda@pref.tottori.lg.jp ホームページ https://www.pref.tottori.lg.jp/mukibanda/

Facebook https://www.facebook.com/Mukibanda 令和元年 10月 発行

魅 麗 な 弥 生 の 国 邑

国指定 史跡

妻木晩田遺跡



鳥取県立むきばんだ史跡公園



よみがえ やよい こくゆう む き ばん だ い せ き 甦る弥生の国邑 妻木晩田遺跡へようこそ!

【弥生のフィールドミュージアム】



【さまざまな出土品】
妻木晩田遺跡からは、紀元前1世紀から紀元3世紀前半の弥生人の暮らしや精神世界、大陸や他地域との交流をうかがい知ることができる数多くの遺物が発見されました。

◎弥生人の暮らし◎

暮らしの土器



竪穴住居跡や環壕内などからは、日常の生活で使用された甗や壺、高環や鉢が出土します。煮炊きに使われた甗には、お焦げや煤が付着しています。

さまざまな石の道具



稲の穂を刈る石屑丁、木を伐採するための石斧、木の実を磨りつぶす磨石・敲石や石皿、漁に使う錘や狩猟用の鏃など石の道具が数多く見つかっています。

玉と玉づくり



装身具となる緑色凝灰岩や碧玉製の管玉や未成品、青色や紺色のガラス製の小玉や管玉が出土しています。

◎弥生人の精神世界◎

祭られる土器



仙谷5号墓では、お墓に供えられた甗や壺なども見つかっています。これらの土器は、赤い顔料や特別な文様が描かれ、器台という土器に載せられました。

絵画土器、線刻された砥石

祭祀を司る人物が描かれた土器や弧帯文という幾何学的な文様が描かれた砥石が見つかっています。



◎他地域との交流◎

暮らしを変えた鉄器



妻木晩田遺跡で出土した鉄器は400以上にのぼります。その多くは、袋状鉄斧(木を加工する道具)やヤリガンナ(木の表面を削る道具)、刀子(ナイフ)など、木器作りや建築部材の加工に使われた工具類です。

貴重な青銅器



割れ口がきれいに磨かれた中国製の破鏡が出土しています。